

経営統合について

2007年10月5日



目次

1. 統合の背景
2. 両社の概要
3. 両社のグループ概要
4. 両社の店舗展開
5. 統合後の業界ポジション
6. 経営統合の目的
7. 統合新会社グループの運営基本方針
8. 統合新会社グループの事業イメージ
9. 経営統合後の事業展開の具体案
10. 経営統合後の施策とシナジー効果
11. 新共同持株会社設立のスキーム
12. 新共同持株会社設立・上場までのスケジュール
13. 新共同持株会社の概要
14. 新共同持株会社の経営体制

1. 統合の背景

ヘルスケア業界をとりまく環境の激変

ドラッグストア業界

- 「セルフメディケーション」に対する顧客ニーズの高まり
- 改正薬事法施行に伴う業態間を越えた競争
- 関係業界(メーカー・卸)での再編・大型化
- 店舗数の増大や店舗の同質化に伴う業界内での消耗戦

調剤薬局業界

- 医療費抑制政策による薬価改定や調剤技術料の見直し
- ジェネリック医薬品の普及促進政策
- 調剤過誤等回避のための人材育成投資や設備投資の増大
- 薬剤師のさらなるレベルアップへの期待

お客様にとって付加価値が高く、専門性に優れた商品・サービスを提供することが重要

専門化を進めたドラッグストア事業に強みを持つCFSコーポレーションと
調剤事業に強みをもつアインファーマシーズの経営統合により
トータルヘルスケア企業として日本を代表するリーディングカンパニーへ

2. 両社の概要

決算の状況		CFSコーポレーション		アインファーマシース	
決算期	FY07	2月20日	4月30日		
売上高	FY07	1,422	813		
営業利益	FY07	0	29		
経常利益	FY07	1	28		
当期純利益	FY07	- 32	10		
純資産	FY07	175	113		
総資産	FY07	520	498		
売上セグメント	FY07	売上	構成比	売上	構成比
調剤		72	5.1%	668	82.1%
物販(ドラッグストア)		905	63.7%	143	17.5%
物販(ドラッグストア以外) ・その他		445	31.3%	3	0.3%

従業員数及び出店地域		CFSコーポレーション		アインファーマシース	
従業員数	FY07	1,529	1,943		
うち正社員薬剤師数		438	1,232		
出店地域	FY07	DgS SM	調剤	DgS	調剤
		288	4(58)	42	251
北海道・東北		0	0	23	105
関東		175	2(46)	5	71
東海		113	2(12)	14	12
その他		0	0	1	63

DgS:ドラッグストア / SM:スーパーマーケット

3. 両社のグループ概要

CFSコーポレーション グループ会社	主な事業の内容 / 主要な店舗ブランド
(株)CFSコーポレーション(本社:静岡・神奈川)	ドラッグストアの運営 / ハックドラッグ、ハックエクスプレス(駅型ドラッグストア) スーパーマーケットの運営 / キミサワ、ザ・コンボ(ドラッグストアとのコンビネーションストア)
(株)きずなフーズ(本社:静岡)	惣菜等食品の製造・販売
(株)ヤン・ヤン(本社:静岡)	菓子等の販売 / ミスタードーナツ加盟店
(株)ホーム・ファーマシー(本社:神奈川)	在宅調剤を主とする調剤業務
(株)きずな総合開発(本社:神奈川)	店舗開発および管理運営
(株)きずなインシュアランス(本社:神奈川)	損害保険等代理
(株)CFSサンズ(本社:神奈川)	店舗内作業等の受託
アインファーマシーズ グループ会社	主な事業の内容 / 主要な店舗ブランド
(株)アインファーマシーズ(本社:北海道)	大病院・診療所等門前薬局を中心とした調剤薬局の運営 / アイン薬局、今川薬局 ドラッグストアの運営 / アインズ、アインズ&トルペ、トルペ(コスメティック中心)
(株)アインメディカルシステムズ(本社:東京)	調剤薬局の運営(首都圏・大型調剤薬局中心) / アイン薬局
(株)アイン東海(本社:愛知)	調剤薬局の運営(東海地区) / アイン薬局、ナイス薬局 ドラッグストアの運営(東海地区) / アインズドラッグ、ナイスドラッグ
(株)リジョイス(本社:東京)	調剤薬局の運営(東京・長野地区) / リジョイス薬局
(株)リジョイス薬局(本社:京都)	調剤薬局の運営(京阪神地区) / リジョイス薬局
(株)メディカルハートランド(本社:山形)	調剤薬局の運営(山形地区等) / すみれ薬局
(株)ダイテク(本社:新潟)	調剤薬局の運営(新潟地区) / にいがた調剤薬局
(株)あさひ調剤(本社:埼玉)	調剤薬局の運営(埼玉地区等) / あさひ調剤薬局、はなまる薬局、わかば薬局、こくぶ薬局、
(株)宮古アイン(本社:岩手)	調剤薬局の運営(岩手地区) / 宮古調剤薬局
(株)ホールセールスターズ(本社:東京)	後発医薬品(ジェネリック医薬品)等の販売
(株)アインスタッフ(本社:北海道)	薬剤師等の人材派遣・紹介等
(株)メディウェル(本社:北海道)	医療コンサルティング
(株)アインエイド(本社:北海道)	医薬品等の販売

4. 両社の店舗展開

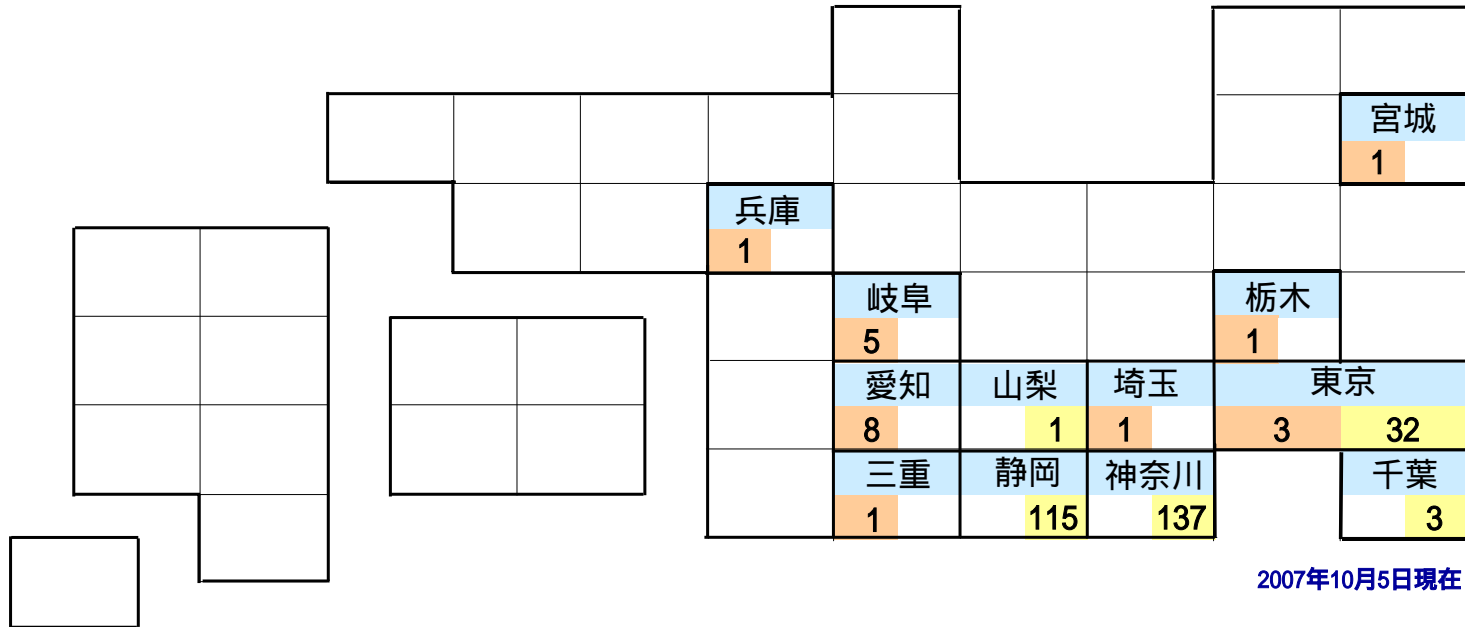
ドラッグストア・スーパーマーケット店舗

両社総店舗数(単純合算) : 332店舗

288 CFSコーポレーション…DgS:263(調剤併設62)、コンボ(DgS+SM):5、SM:20

44 アインファーマシーズ…DgS:44

北海道
23

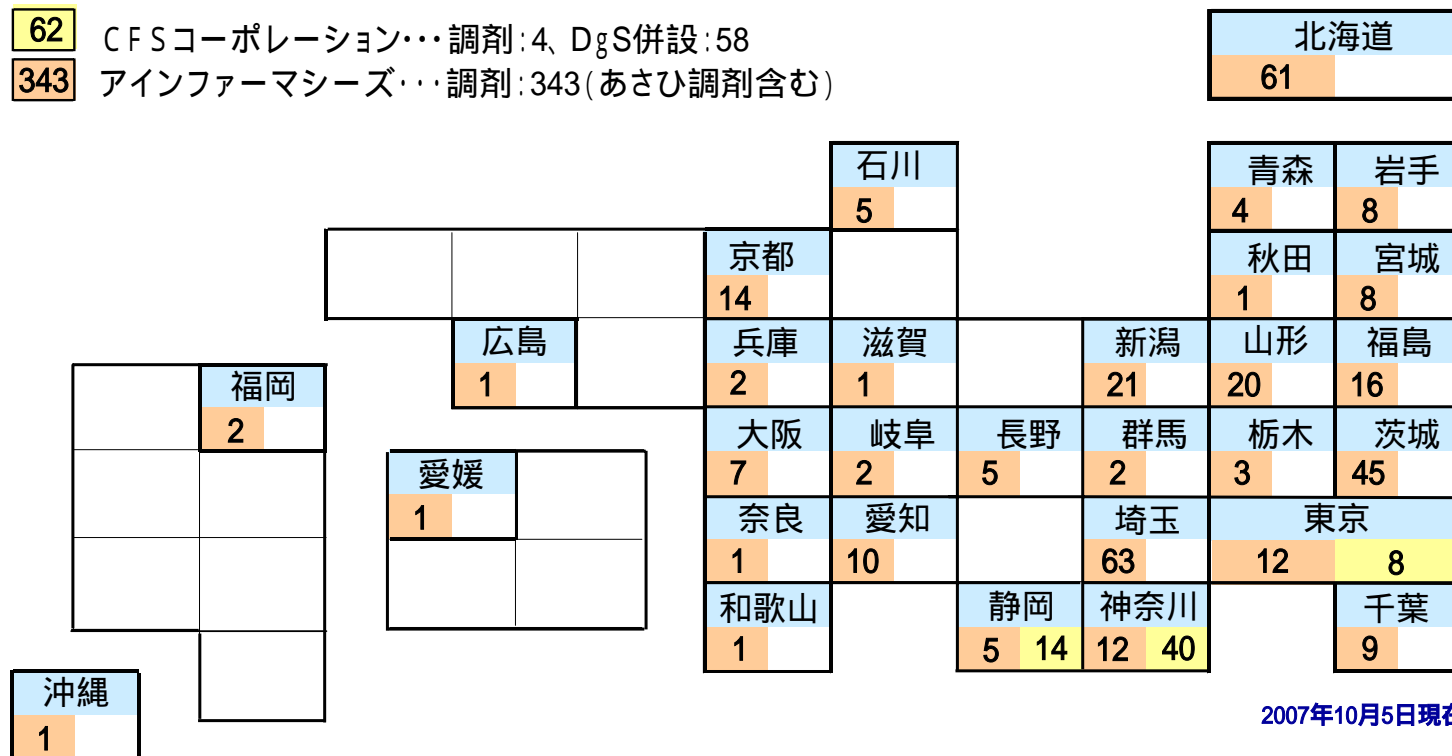


2007年10月5日現在

4. 両社の店舗展開 調剤薬局(調剤併設DgS店舗を含む)

両社総店舗数(単純合算) : 405店舗

- 62 CFSコーポレーション…調剤:4、DgS併設:58
- 343 アインファーマシーズ…調剤:343(あさひ調剤含む)

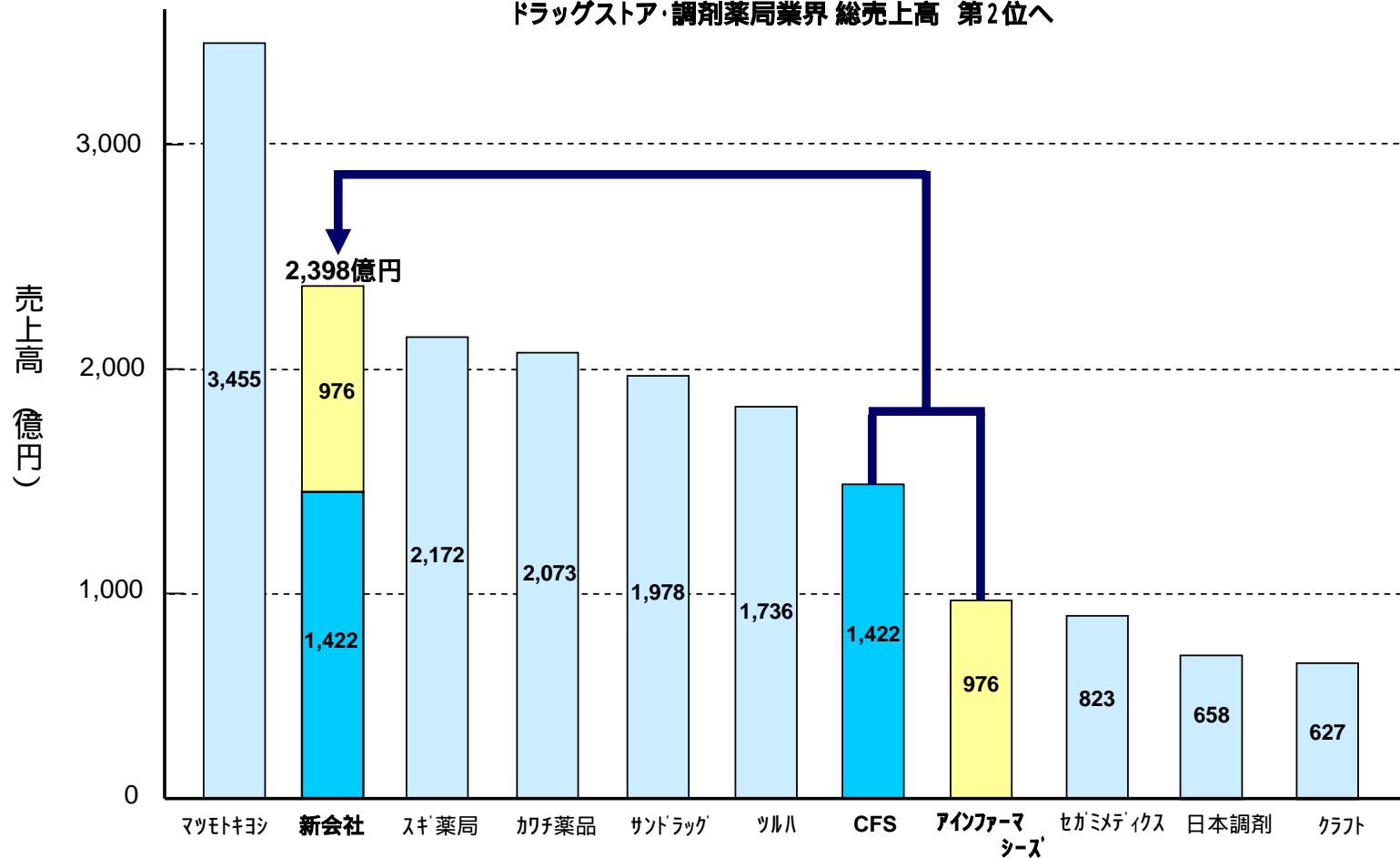


2007年10月5日現在

5. 統合後の業界ポジション

総売上高単純合算

ドラッグストア・調剤薬局業界 総売上高 第2位へ



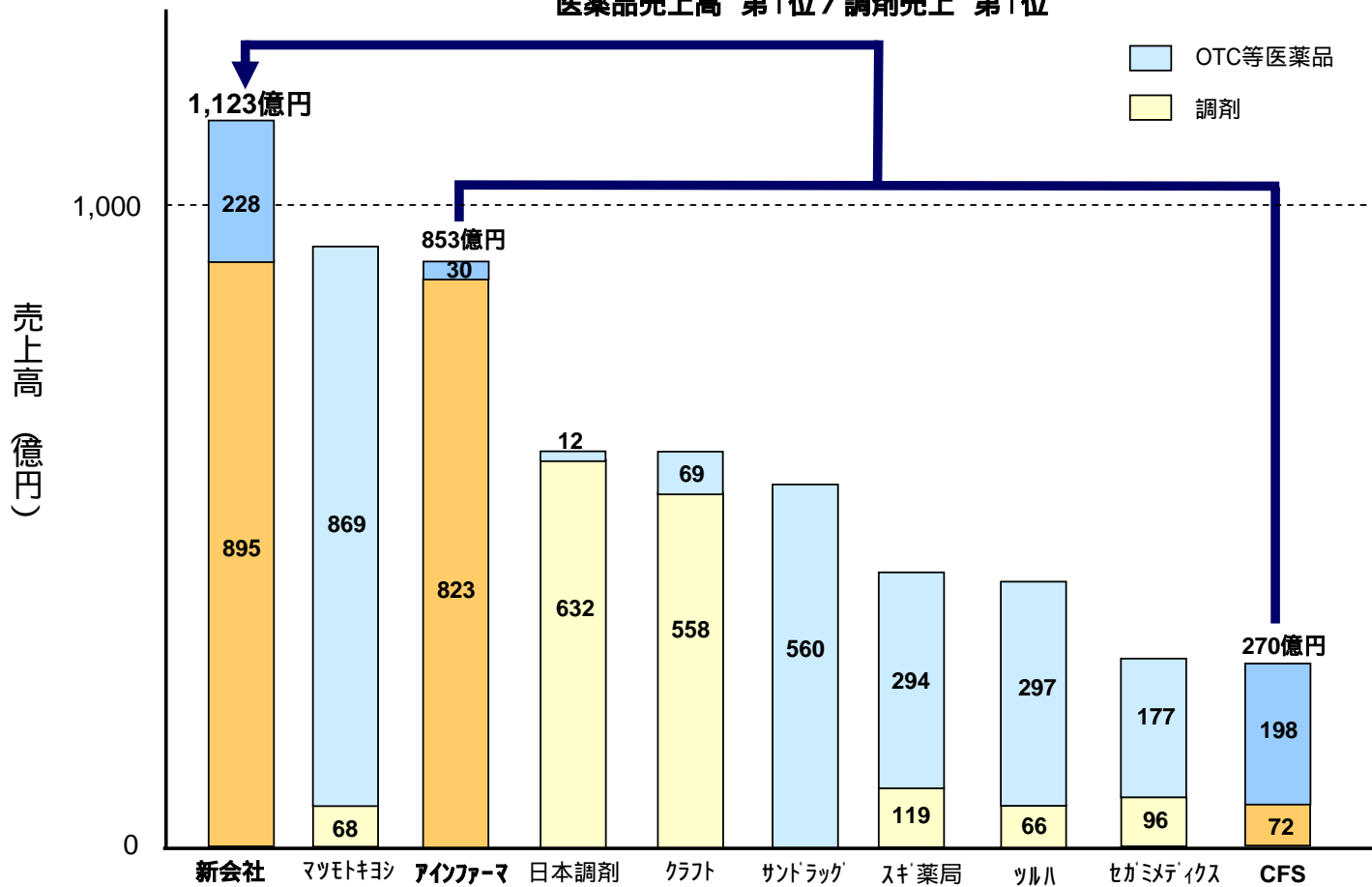
アインファーマシーズの総売上高には、あさひ調剤売上高163億円(06年07期)を加算

データ出所: 各社有価証券報告書

5. 統合後の業界ポジション

医薬品売上高・調剤売上高 単純合算

医薬品売上高 第1位 / 調剤売上 第1位



アインファーマシーズの調剤売上高には、あさひ調剤売上高163億円(06年07期)を加算 データ出所:ドラッグマガジン2007.07号

6. 経営統合の目的

CFSコーポレーションとインファーマシーズが考える
トータルヘルスケア企業として日本を代表するリーディングカンパニーの姿とは…

予防から医療まで、お客様の豊かな生活と健康維持にトータルな貢献ができる企業

専門性に優れたヘルスケアサポートサービスを均一化された品質で提供できる企業

バランスのとれた事業構造で継続的な成長および企業価値の増大が期待できる企業

CFSコーポレーションとインファーマシーズは
経営統合によって日本を代表するトータルヘルスケア企業の姿を具現化し
国内最大級のヘルスケアネットワークグループの構築を目指します

7. 統合新会社グループの運営基本方針

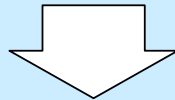
- ▶ 専門性が高く、付加価値の高い商品やサービスを提供し、“お客様の身近なかかりつけ薬局”として、地域社会への貢献に努めて参ります
- ▶ 収益性と効率性の向上により継続的な成長を果たし、企業価値の最大化を目指します
- ▶ 日本を代表するトータルヘルスケア企業として、コンプライアンスを遵守し、社会的信用の一層の向上に励みます
- ▶ 対等の精神のもと、公平な処遇と適正な再配置により人材の融合と活用に努めます

8. 統合新会社グループの事業イメージ

CFSアインホールディングス

ドラッグストア・物販事業

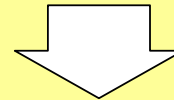
専門性の高い調剤併設型店舗の展開
コスメ強化型店舗等高付加価値店舗の展開
神奈川・静岡を中心としたドミナント戦略の徹底
他社との戦略的提携も視野に入れた
フード事業収益の向上



首都圏を地盤とした高付加価値型店舗展開

調剤薬局事業

調剤薬局でのスケールメリットの追求
ジェネリック医薬品の普及政策への対応
優れた研修システムにより
高い専門性を有する薬剤師の育成
IT技術を活用した先進的な調剤システムの導入



国内トップの調剤薬局ネットワーク構築

2010年度 連結売上高目標:3,000億円、連結営業利益目標:100億円

9. 経営統合後の事業展開の具体案

1. 高付加価値型店舗展開の加速

調剤併設型のDgS店舗の首都圏での展開

コスメ強化型店舗の首都圏および全国での展開

2. 専門性に優れた均質なヘルスケアサービス提供が可能なネットワークの構築

先進的な調剤過誤防止システムの全店舗導入

クオリティの向上を目指し継続的に実施される教育プログラムの活用による専門性の高い薬剤師の育成・確保

3. 環境変化に対応しうる事業基盤の確立

門前薬局に加え、面分業へ対応した調剤併設DgSの展開強化

医療費抑制政策に対応したジェネリック医薬品の取り扱い規模の拡大

4. 日本を代表するトータルヘルスケア企業としての社会的信用の向上

調剤売上第1位、医薬品等(医療用及びOTCを含む)売上第1位を維持する継続的成長の達成

優秀な人材(薬剤師を含む)の確保および教育による一層のレベルアップ

収益力の向上、財務体質の強化による企業価値の増大

10. 経営統合後の施策とシナジー効果

統合後の施策

共同での仕入・購入・販売の推進、仕組の共有

- 医療用医薬品
- ジェネリック医薬品
- NB商品、PB商品

各種催事・販促の共同化

好適用地・物件情報の共有

不採算店舗の業態転換または退店

情報システムの統合・共通化

- 基幹情報システムの統合
- 店舗システム(調剤過誤防止システム等)の共通化
- 顧客ポイントカードシステムの統合

薬剤師等従業員の採用・教育プログラムの共有

後方部門(シェアードサービス)業務の標準化と効率化

人材の適正再配置と活発な人事交流

期待されるシナジー

バーゲニングパワーの向上

- 仕入コストの低減

物流コストの削減

取引先管理コストの低減

販促コストの効率的支出

出店機会の確保

収益性の向上

システム投資コストの圧縮

顧客情報の共有化による効率的営業施策の実施

- セルフメディケーションのための情報提供能力の向上

人材のクオリティアップとリテンション効果

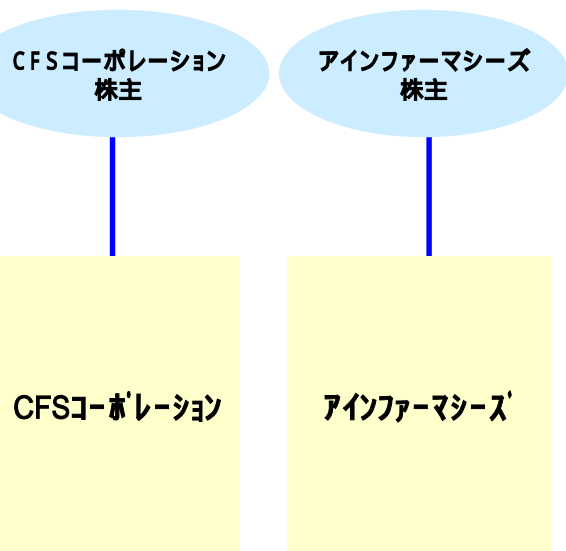
間接コストの削減

経営効率の向上

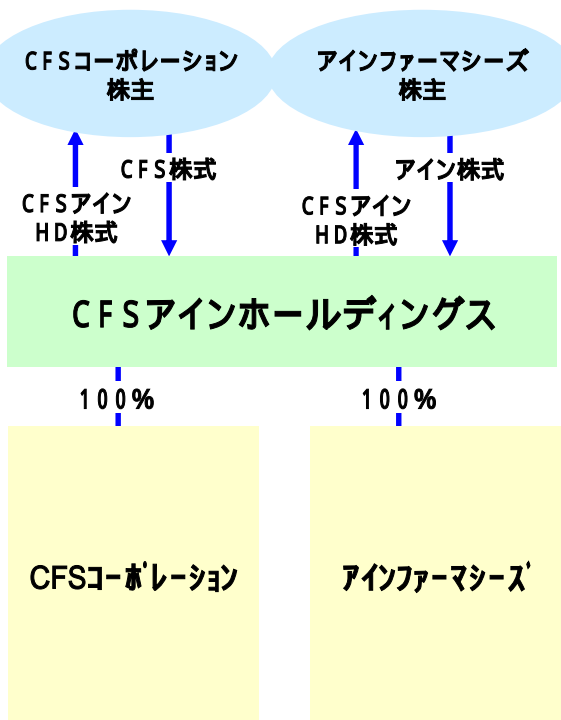
両社従業員が持つノウハウの相互共有の促進

11. 新共同持株会社設立のスキーム

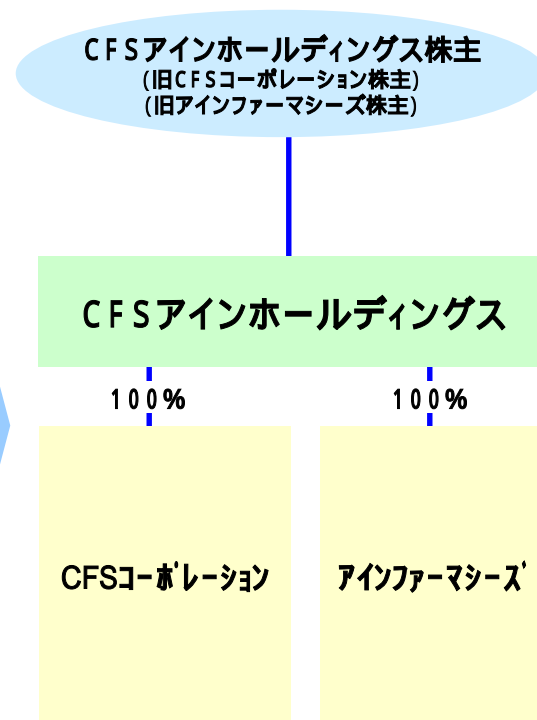
現 状



株式移転



持株会社設立



12. 新共同持株会社設立・上場までのスケジュール

- 2007年10月5日 基本合意書締結（両社取締役会）
- 2007年11月上旬(予定) 株式移転契約締結および株式移転計画承認（両社取締役会）
- 2008年1月下旬(予定) 株式移転計画承認（両社臨時株主総会）
- 2008年3月26日(予定) 上場廃止日(両社)
- 2008年4月1日(予定) 株式移転効力発生日（共同持株会社設立登記）
- 2008年4月1日(予定) 共同持株会社株式上場日

13. 新共同持株会社の概要

社名	株式会社CFSインホールディングス(仮称)
本店所在地	東京都
設立予定日	2008年4月1日(予定)
決算期	3月31日
上場取引所	東京証券取引所 上場予定
代表取締役会長	石田健二(現(株)CFSコーポレーション 代表取締役会長兼社長)
代表取締役社長	大谷喜一(現(株)インファーマシーズ 代表取締役社長)

14. 新共同持株会社の経営体制

CFSアインホールディングスの役員構成(予定)

代表取締役会長 石田 健二 (現 ㈱CFSコーポレーション 代表取締役会長兼社長)

代表取締役社長 大谷 喜一 (現 ㈱アインファーマシーズ 代表取締役社長)

取締役 松岡 健二 (現 ㈱CFSコーポレーション 取締役副社長)

取締役 石田 岳彦 (現 ㈱CFSコーポレーション 取締役副社長)

取締役 武市 守弘 (現 ㈱CFSコーポレーション 取締役)

取締役 南雲 正 (現 ㈱アインファーマシーズ 代表取締役副社長)

取締役 加藤 博美 (現 ㈱アインファーマシーズ 専務取締役)

取締役 川井 淳一 (現 ㈱アインファーマシーズ 専務取締役)

監査役(常勤) 2名(CFSコーポレーション、アインファーマシーズから、各1名)

監査役(社外) 2名

注意事項

本書に記載した一切の記述内容は、両社と新共同持株会社の現時点に関する入手可能な情報に基づき、一部主観的前提を置いて合理的に判断したものであり、将来の結果はさまざまな要素により大きく異なる可能性がありますので、ご了承下さい。

また、本書に記載された両社または新共同持株会社を除く企業などに関わる情報は一般に公開された情報などを原則としてそのまま採用しており、かかる情報の正確性および完全性などについて両社は何らの検証を行っておらず、また、これを保証するものではありません。